

○授業者より感想

物理

竹内：建築物の講義内容になると難しすぎる面があるので、高校での学習内容にも関わる「熱」をテーマにした講義をした。高校生を相手に講義するのは初めてだったが、生徒達が元気で、印象的だった。

一ノ関：測定実験を取り入れた。生徒達が楽しそうに実験していた。

化学

牟田口：自分の研究である好熱菌をテーマを元に授業を行った。自分も普段大学生に講義を行うことがあるが、高校生を相手にするのは初めての経験だった。講義と実験のバランスが適切だったかどうか。また実験を取り入れた内容だったが、どの位の操作技術があるか不安だった。問題無く出来ていたが、高校の授業でも実験指導を継続していただけたらと思う。

奥山：講義と実験のバランスについては理想的だったと感じた。2回の授業を通してきちんとしたまとまりのある授業内容になっていた。高校での学習事項が大学の研究とつながりがあることを意識させることができた。生徒のテンションも高く意欲的だった。

生物

鈴木：タンパク質の分析実験はサイエンスインターンシップでも行っているが、この大人数で1コマの授業時間で行うのは初めてだった。普段は1日ばかりで行うものであり、不安もあったが、省略するところは省略して何とかやり遂げることができたのは新しい発見であった。

片桐：普段おとなしい生徒達がよく動いていた。電気泳動などイメージしにくい領域を扱うことが出来て良かった。

○参観者より

浅利：実験操作の意味まで理解できる授業となって良かった。たいへん貴重な経験になった。

白沢：大学の先生方に来てもらって、たいへん贅沢な授業であったと感じた。多くのご苦勞をおかけしたと思うが、感謝したい。

藤田：生徒がいつも以上によく動いていた。自分もいろいろ勉強していきたい。

○今後の事業について

『躍進ⅡC』においてこのような協働授業を複数回実施したいと考えている。

大学側の都合も考慮し、夏休みの9月ごろと12月を予定したい。

内容については、科学系オリンピックの問題を題材にしてはどうだろうか。他校での実施例がある。